

# 家庭教育通信

Vol.

25

監修:白井市家庭教育講座講師 富澤 優江<sup>ゆうこ</sup>

発行元:白井市教育委員会(教育部生涯学習課 492-1111 内 3431)

平成24年3月発行

「家庭教育通信」は、子どもたちの健やかな成長を願い、よりよい家庭教育について、皆で考え行動することを目指して、白井市教育委員会が情報を発信するものです。

## 『子どもの気持ち あたたかく見守り 大切に育てましょう。。。』



先日電車の中の雑誌の広告に『「放任」で育つ自立心と責任感』というタイトルが目につきました。「放任」は、**親がしなければならない世話や必要な教育やしつけの責任を放棄**することで、虐待のひとつにもあげられるものです。一方「自立心」「責任感」は、多くの親が子どもに持ってほしい資質にあげられます。一人の人間として経済的・精神的に自立し、もって生まれた個性を生かしながら幸せになるために必要と思う「自立心・責任感」がどのように育つかをマズローの欲求の段階説から考えてみたいと思います。

アブラハム・マズローはアメリカの心理学者です。マズローは、人間は自己実現に向かって絶えず成長する生き物であると仮定し、人間の基本的欲求を5段階に分類しました。二等辺三角形を5層に分けた図です。人間は満たされない欲求があるとそれを満たそうとし、満たされると上層の次のステップの欲求を満たそうとするというのです。頂点にたどり着くためには、下層の欲求から自分の力で満たしていくことが必要だと言われています。

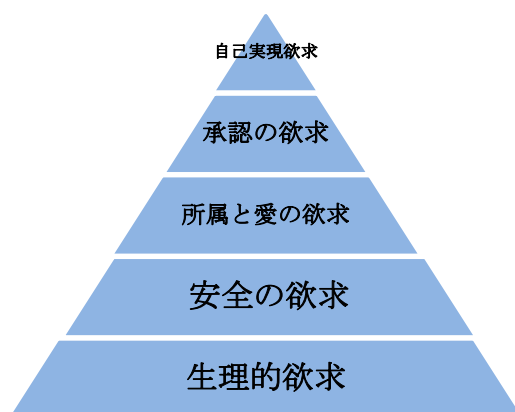
一番下の1層は、**生理的欲求**です。生命維持のための本能的な欲求で、食事、睡眠、排せつです。子どもに空腹を満たす食事があることで、人は食べ物に不自由がなくなると、次に安心して安全に暮らしていきたいと思うのです。それが2層目の**安全の欲求**です。

安心して食事をして、ゆっくりと眠りたい、暑さや寒さをしのげる衣服や家が欲しいと思います。ここまでの欲求は、日本人の多くが満たされているのですが、親の暴力やネグレクトといった虐待で命を落とすのは、**生理的欲求や安全の欲求**が満たされていないのです。

3層目が**所属と愛の欲求**です。家庭やクラス、部活やサークル、地域などどこかに所属して誰かから愛されたい・認められたいと思うのです。かまってほしいのです。ですから、拒否されたり無視されたりすることは、孤独感を感じ、うつ状態にもなってしまいます。いじめはこの欲求を阻害しています。

身の安全が保障され居場所が確保されると、人は次に所属する家庭や学級グループから認められ、尊重されたいと思うのです。それが4層目の**承認の欲求**です。それは、地位や名声、権利、注目を得ようとする人から認められる欲求から、技術や能力を身につけて自分自身を信頼尊重する自己評価を高めようとする欲求に高まっていきます。この欲求が満たされないと、劣等感や無力感を感じます。

最終の5層目が**自己実現の欲求**です。自分自身の持っている能力・可能性を最大限に引き出し、創造的活動をしたい、自己成長したいという欲求です。社会的に成功を収め、社会貢献活動をする人で、全人類の2%しかこのレベルに達する



人はいないと言われている境地です。

この幸せを求める人間的成長とも言える構造は、下から上に積み重ねるように満たしていきますが、上層から下層に落ちてしまうこともあります。昨年3月の大地震と津波は、自分の仕事に誇りを持ち、いきいきと生きていた人々が命を脅かされたのです。生理的欲求、安全の欲求が危ぶまれたのです。まだまだ安心できる家や大切な家族やなじみの地域の友人とのつながりを取り戻せない人もいますが、生きていてよかったから、生きている実感、生きている意味や喜びをつかむために歩みだした人も報道されています。

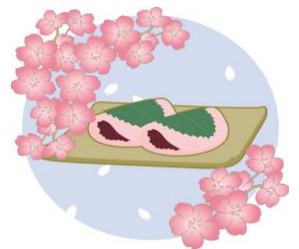
人の人生がいつも順風満帆とは限りません。どうしたら困難や障害を越えて、自己実現に向かっていけるようになるのでしょうか。親が子どもの欲求で満たしてあげられるのは、生理的欲求、安全の欲求、所属と愛の欲求、承認の欲求だと思います。

例えば、佑真君は自分のミスでサッカーの試合に負けてしまいました。自分でやりたいと言って始めたサッカーですが、チームに迷惑をかけたことを悔やんで、辞めたいと言い出しました。チームに所属する資格がないと自分を責めているのです。けれど佑真君の父親は、「一回の失敗で、くよくよしてどうする。自分がやりたいといったサッカーから逃げるな！」と言います。自分で選んで始めたことであり失敗を乗り越えていけるようになって欲しいのです。一方、佑真君は、承認の欲求が満たされるどころか、所属と愛の欲求までが危ぶまれているのです。そんな時親にできることは、家庭の中での安全の欲求と所属と愛の欲求を満たすことではないでしょうか。心と体を少し休める時間と空間を確保するのです。休んでエネルギーをチャージできたら、子どもがどうしたのか話を聞いてみるのです。

電車の広告の雑誌では、夢を実現している人々の親は、無理やりやらせたりやめさせたりはしていませんでした。子どもを見守って、まずは子どもの気持ちや考えを聞き、親の思いを伝えてどうするかを一緒に考えていました。そして、最後の決定は子どもがしていました。子どもは見守られ安心し、子ども自身の決定を承認されるのです。その雑誌では、子どもが決定しそれを親が見守ることを放任と言っていたのです。自分で決めたことを認めてくれる人がいたら、人は、決定の責任を果たそうとします。子どもなりに決めてやり遂げる—その積み重ねが、子どもが自ら決め、責任をもつ力を育てていくのです。

マズローは、自己実現の欲求は、その人の個性に合っていなければ満たされないともし言っています。子ども自身が満足する夢や希望を叶えなければ、満足はないのです。ですから、子ども自身が自分の人生を自分で選択していけるように、サポーターであるのが親の仕事といえるのかもしれませんが。

そして、親自身の人生では、親自身が自分の夢や希望を叶えながら生きていくことです。家族の夢も大切にして生きていく。その後ろ姿が、子どもの生きる道しるべになるようです。



## 県内の相談場所

- ・ **家庭教育の悩みや不安について**  
白井市教育委員会教育部教育センター室 TEL 492-2301  
県子どもと親のサポートセンター TEL 0120-415-446  
(障害のある・あるかもしれない子どもの養育や教育について)  
県総合教育センター特別支援教育部 TEL 043-227-1166
- ・ **養育上の悩みや非行・虐待などについて**  
白井市家庭児童相談室 TEL 497-3477  
中央児童相談所(子ども家庭110番) TEL 043-252-1152  
社会福祉法人 千葉いのちの電話 TEL 043-227-3900
- ・ **子どもの非行などについて**  
千葉県警少年センター(ヤングテレホン) TEL 0120-783-497
- ・ **教え・育てる ウェブサイト 「親力アップいきいき子育て広場」**  
[http://www.kplaza.pref.chiba.lg.jp/emanabi\\_pc/](http://www.kplaza.pref.chiba.lg.jp/emanabi_pc/) (PCサイト)  
<http://www.kplaza.pref.chiba.lg.jp/emanabi/> (携帯サイト)